



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 悦朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役スタッフ部門長 (氏名) 石本 雅敏

TEL 06-6774-0362

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,196	4.4	△276	—	△250	—	△251	—
24年3月期第1四半期	16,466	12.4	△167	—	△80	—	14	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 299百万円 (5.1%) 24年3月期第1四半期 285百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△3.34	—
24年3月期第1四半期	0.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	66,914	43,597	65.2
24年3月期	68,969	43,901	63.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 43,597百万円 24年3月期 43,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	5.2	1,900	△14.6	1,900	△16.3	1,200	△17.7	15.92
通期	90,000	8.4	5,300	10.9	5,300	7.8	3,500	14.9	46.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	76,924,176 株	24年3月期	76,924,176 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,570,933 株	24年3月期	1,569,158 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	75,354,505 株	24年3月期1Q	75,359,589 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、長引く欧州の債務・金融問題や中国経済の減速など依然として先行き不透明な状況が続いております。わが国経済も、東日本大震災からの復興需要が一部で見られたものの、欧州の債務・金融問題に起因した株価の低迷や円高による輸出環境の悪化、社会保障など将来への不安の増大から、厳しい経営環境が続いております。

当スポーツ業界におきましては、ロンドンオリンピックの開催などにより、スポーツへの注目が高まっております。当社は、出場選手が持てる力を発揮できるようサポートするとともに、ブランド価値向上の絶好の機会と捉え、積極的な広告・販促活動を行ってまいります。

このような状況の中、当社グループは当期を最終年度とする中期3ヶ年計画「Compass 2010」の達成に向けて当期も引き続き各種政策を推し進めてまいります。

商品政策では、新規にコンプレッションアンダーウェアブランドの「スキんズ」のアジア6地域（日本・中国・韓国・台湾・香港・マカオ）における商標権を伊藤忠商事株式会社と共同で取得いたしました。2012年秋冬シーズンより韓国、2013年春夏シーズンより日本・香港で販売を開始いたします。また、太陽光遮蔽素材「サンスクリーン」を使用した商品を各ブランドで国内外において積極的に展開し、好評を博しております。「アリーナ」では1月に発売を開始したトップモデルの競技用水着「アクアフォー ス インフィニティー」がオリンピック代表選考会を兼ねた日本選手権での有力選手の着用もあり、好調に推移いたしました。「デサント」では5月に「第30回オリンピック競技大会（2012/ロンドン）」で日本代表選手が使用するオフィシャルスポーツウェア（Tシャツ・ハーフパンツ）のレプリカ商品の販売を、「ルコックスポルティフ（アスレ）」では6月に自転車のプロロードレース「ツール・ド・フランス」で優勝者に与えられるリーダージャージのレプリカモデルの販売を開始いたしました。

販売活動では、国内におきましては、4月に「ルコックスポルティフ（ゴルフ）」で「ルコックゴルフ広尾店」を旗艦店としてリニューアルオープン、「アリーナ」でも6月に「アリーナショップノース天神店」をリニューアルオープンいたしました。海外におきましては、3月に韓国で「ロッテアウトレットパジュ店」を、シンガポールのサンテックシティに「ルコックスポルティフ（ゴルフ）」の直営店をオープンいたしました。

広告・販促活動では、「第30回オリンピック競技大会（2012/ロンドン）」において、日本代表選手団が使用するオフィシャルスポーツウェア（Tシャツ・ハーフパンツ）を提供するとともに、競泳・飛び込み・ビーチバレー・カヌー・馬術のそれぞれの代表選手にもウェアをサプライいたします。また、「アリーナ」ではロンドンオリンピック競泳日本代表で、現在、100m・200m背泳ぎの日本記録保持者である入江陵介選手（株式会社ナガセ（イトマン東進）所属）とアドバイザー契約を締結いたしました。既に契約を締結している北島康介選手・立石諒選手とともに、ブランドの一層の価値向上を図ってまいります。ゴルフでは、「マンシングウェア」の契約プロの宮里美香プロが「全米女子プロゴルフ選手権」で2位に、谷口徹プロ・全美貞プロが国内ツアーで優勝、また、「クレージュスポーツフューチャー（ゴルフ）」の契約プロである佐伯三貴プロも国内ツアーで優勝するなど活躍を続けており、これらの各選手を通じてブランドイメージの向上に努めてまいります。

社会貢献活動では、2016年に引き続き2020年も「特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会」にオフィシャルパートナーとして協賛いたします。これからの招致委員会の活動をサポートし、スポーツの振興と発展に寄与してまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は17,196百万円（前年同四半期比4.4%増）となり、営業損失は276百万円（前年同四半期は167百万円の営業損失）、経常損失は250百万円（前年同四半期は80百万円の経常損失）、四半期純損失は251百万円（前年同四半期は14百万円の四半期純利益）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

アスレチック事業はほぼ前年並みに推移したものの、ゴルフ事業及びアウトドア事業は減収となりました。結果、売上高は10,578百万円（前年同四半期比6.4%減）、セグメント損失は716百万円（前年同四半期は250百万円のセグメント損失）となりました。

(アジア)

ゴルフ事業は減収となりましたが、アスレチック事業およびアウトドア事業は好調に推移いたしました。結果、売上高は6,606百万円（前年同四半期比28.1%増）、セグメント利益は514百万円（前年同四半期比140.5%増）となりました。

(北米)

北米ではスキーウェアを中心としたアウトドア事業を行っております。売上高は11百万円（前年同四半期比58.4%増）、セグメント損失は64百万円（前年同四半期は68百万円のセグメント損失）となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、ライフスタイル提案が好評を博した「アンブロ」が堅調に推移いたしました。「アリーナ」は競技用水着の売れ行き回復によりほぼ横ばいになりましたが、「デサント」はジャージの販売不振により、「ルコックスポルティフ」はメンズ商品の販売不振により減収となりました。アジア市場におきましては、バッグ類およびシューズの商品企画強化が功を奏した「デサント」および「ルコックスポルティフ」が好調に推移いたしました。結果、売上高は11,368百万円(前年同四半期比15.1%増)となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、「マンシングウェア」の販売不振により減収となりました。アジア市場におきましては、「ルコックスポルティフ」が選手やタレントを起用したプロモーションなどにより好調に推移したものの、「マンシングウェア」が店舗の閉鎖などで苦戦し、「ダンヒルリンクス」の撤退もあり減収となりました。結果、売上高は5,331百万円(前年同四半期比12.6%減)となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場におきましては、「ホールアース」の撤退がありましたが、アウトドア市場のニーズを捉えた「マーモット」が好調に推移しほぼ横ばいとなりました。アジア市場・北米市場におきましては、売上高は少額となっております。結果、売上高は496百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は66,914百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,054百万円減少いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,207百万円減少し、49,329百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少3,882百万円、その他に受取手形及び売掛金の減少2,329百万円、商品及び製品の増加3,218百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ152百万円増加し、17,585百万円となりました。これは主に無形固定資産の増加642百万円、投資その他の資産の減少388百万円によるものです。

負債合計は、23,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,750百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少500百万円、支払手形及び買掛金の減少436百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ304百万円減少し、43,597百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少854百万円、為替換算調整勘定の増加648百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5%増の65.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成24年5月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

従来の方によった場合と比較して、この変更が当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,442	14,559
受取手形及び売掛金	17,291	14,962
商品及び製品	13,345	16,563
仕掛品	74	120
原材料及び貯蔵品	453	505
その他	1,979	2,659
貸倒引当金	△49	△42
流動資産合計	51,536	49,329
固定資産		
有形固定資産	10,291	10,190
無形固定資産	578	1,220
投資その他の資産		
その他	6,724	6,331
貸倒引当金	△161	△158
投資その他の資産合計	6,562	6,173
固定資産合計	17,432	17,585
資産合計	68,969	66,914
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,862	14,426
短期借入金	—	110
未払法人税等	1,153	653
賞与引当金	775	415
返品調整引当金	373	422
その他	3,824	3,094
流動負債合計	20,989	19,121
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
退職給付引当金	996	1,028
その他	1,581	1,667
固定負債合計	4,078	4,195
負債合計	25,067	23,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	17,617	16,762
自己株式	△659	△660
株主資本合計	45,988	45,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△171	△271
繰延ヘッジ損益	△15	△12
為替換算調整勘定	△1,900	△1,251
その他の包括利益累計額合計	△2,087	△1,535
純資産合計	43,901	43,597
負債純資産合計	68,969	66,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	16,466	17,196
売上原価	8,519	8,523
売上総利益	7,947	8,672
返品調整引当金繰入額	110	48
差引売上総利益	7,836	8,623
販売費及び一般管理費	8,004	8,900
営業損失(△)	△167	△276
営業外収益		
受取利息	15	23
受取配当金	19	20
その他	64	52
営業外収益合計	99	95
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	0	62
その他	10	6
営業外費用合計	11	69
経常損失(△)	△80	△250
特別利益		
固定資産売却益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
投資有価証券評価損	—	209
特別損失合計	—	209
税金等調整前四半期純損失(△)	△80	△430
法人税、住民税及び事業税	50	147
法人税等調整額	△145	△326
法人税等合計	△94	△178
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	14	△251
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14	△251

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	14	△251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	△99
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	290	631
持分法適用会社に対する持分相当額	7	17
その他の包括利益合計	270	551
四半期包括利益	285	299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285	299

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,304	5,155	7	16,466	—	16,466
セグメント間の内部売上 高又は振替高	95	12	—	108	△108	—
計	11,400	5,167	7	16,574	△108	16,466
セグメント利益又は損失	△250	213	△68	△105	△62	△167

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△62百万円には、セグメント間取引消去2百万円、棚卸資産の調整額△65百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,578	6,606	11	17,196	—	17,196
セグメント間の内部売上 高又は振替高	162	12	—	175	△175	—
計	10,741	6,618	11	17,371	△175	17,196
セグメント利益又は損失	△716	514	△64	△266	△10	△276

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△10百万円には、セグメント間取引消去11百万円、棚卸資産の調整額△21百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第1四半期連結累計期間 平成24年3月期第1四半期		当第1四半期連結累計期間 平成25年3月期第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	9,877	60.0	11,368	66.1	1,490	15.1
ゴルフウェア 及びその関連商品	6,098	37.0	5,331	31.0	△766	△12.6
アウトドアウェア 及びその関連商品	491	3.0	496	2.9	5	1.2
計	16,466	100.0	17,196	100.0	729	4.4

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	5,383	7	10	5,400
II 連結売上高				16,466
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	32.7	0.0	0.1	32.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、台湾、中国等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	6,864	11	58	6,935
II 連結売上高				17,196
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	39.9	0.1	0.3	40.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。